

課題

デザイン学科

●対象選抜区分

総合型選抜 Ⅰ期・Ⅱ期 / 社会人特別選抜・帰国生特別選抜

●課題タイプ

企画提案型

●出題意図

身の周りにある多くのものは、デザイナーが何らかの意思を持ってデザインしたものです。これからデザインを学ぶにあたっては、デザイナーの意思を読み取ること、それを自分の視点に置き換えて考察すること、またその考えを分かりやすく伝えることはとても重要であると考え、課題はその適性を図ることを意図しています。また、「デザイン」という視点で様々なものを再認識することを期待しています。

●評価のポイント

問題を発見する力、その解決方法を考える力、そのアイデアを分かりやすく伝える力、これらを総合的に評価します。

●アドバイス

課題制作については本学ホームページ (<https://www.t-kougei.ac.jp/admission/arts/ao/aoguide/>) に詳しい説明がありますので参考してください。



課題内容

総合型選抜 Ⅰ期・Ⅱ期 / 社会人特別選抜・帰国生特別選抜

あなたが興味・関心を持っている分野のデザインの中から「よくない」と考えるデザインを具体的に挙げ、なぜ「よくない」のかを説明し、それをよいデザインにするにはどうすればよいかを、任意のA4判用紙(1枚)に自由に表現してください。

※使用する画材は鉛筆・色鉛筆・マーカー類に限ります。

参考作品 総合型選抜 Ⅰ期・Ⅱ期 / 社会人特別選抜・帰国生特別選抜

《作品A》



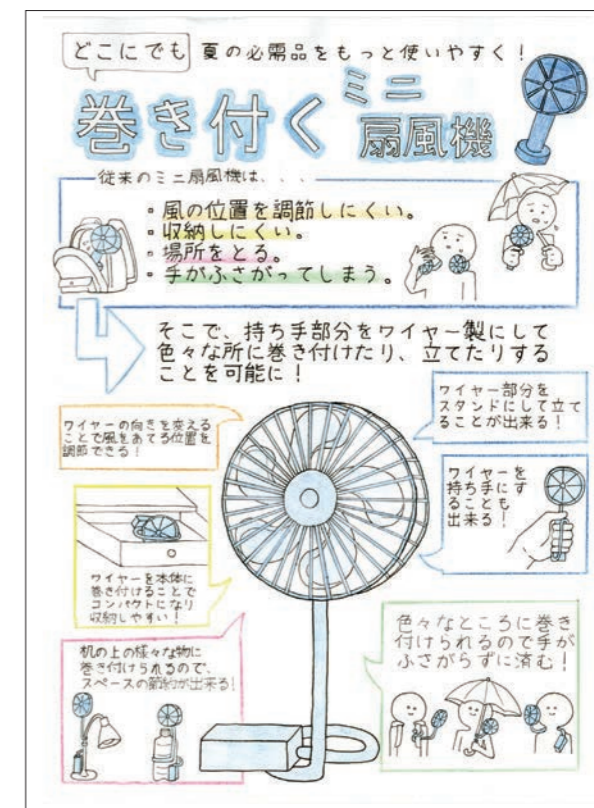
人の生命に関わるデザインにおいて、新しいアイデアが実用化されるまでには多くのハードルがありますが、薬の不便さや心配事を色によって解決しようという姿勢を評価しました。飲み忘れを防ぐなどの実用性に加え、飲む人の感情へ働きかける心理的な側面も兼ね備えたアイデアです。

《作品C》



ロール状のケースはすでにありますが、そこに「曲げ」を加えることでスタンドにもなるというアイデアです。曲げることで自立の強度を得るところに、素材や構造に対する観察力を感じました。まとめ方としては、色数を絞り込んだ方がよりポイントが伝わったでしょう。

《作品B》



三脚タイプで脚がワイヤー状のものはすでにありますが、やや長めの持ち手を設定して、巻きつけることで既存商品では対応できなかった新しい使用シーンを提示している点を評価しました。問題発見と提案のポイントも明快にまとめられています。

《作品D》



日常の観察から誰もが経験しうる不便なことを拾い上げるのは、デザインにおいて非常に重要なことです。機構的にも従来の折り畳み構造が応用できるアイデアで、実現性が高い提案です。ただ畳んだハンドルがサドルを塞ぐという説明は人体スケールを考慮すると疑問が残ります。